



富士市のギネス

がんばり No.1

名前のいろいろベスト5

さて、今回と次回は市民の皆さんの名字や名前に関するナンバー1を紹介します。(数字は7月1日現在です)

まず名字の多い順のベスト5は、1位スズキさん11,357人、2位ワタナベさん10,289人、3位サノさん6,824人、4位モチヅキさん6,278人、5位カトウさん3,456人となっています。

名前の多い順のベスト5は、1位ケイコさん1,866人、2位ヒロシさん1,717人、3位ヨウコさん1,693人、4位ヒロコさん1,619人、5位ヨシコさん1,576人となっており、女性の名前が多くあります。

また、同姓同名のベスト5は、スズキヨシコさん98人、スズキケイコさん96人、スズキヒロコさん92人、ワタナベケイコさん77人、ワタナベヨシコさん73人の順です。

ちなみに、字までまったく同じという同姓同名のベスト5は、鈴木和子さん46人、鈴木幸子さん41人、佐野和子さん35人、鈴木久美子さん35人、佐野幸子さん34人の順になっています。



市野 隆さん

岩松・橋下の市野隆さんは、ハンディを物ともしない行動派。七月に札幌で行われた「北海道車いすマラソン大会」に参加し、ハーフコースを一時間六分二十一秒の記録で完走しました。この記録は参加者三十七人中七位という好記録で、自己ベストを十分余り短縮しました。「完走後の満足感は何ともいえません。また、いろいろな人と友達になれるのもいいね」とマラソンの魅力を語ってくれました。

ハンディを乗り越え
車いすマラソンで完走

マジックを研究しだして三十年。風船の中から生きているハトを出したり、しょうちゃん人形を通して社会を語るなど、芸は多彩で見ている人を感動させます。当間さんは、「お年寄りや子供に喜んでもらうのが一番の励み」と語り、マジックを通じたコミュニケーションづくりを続けています。

腹話術のしょうちゃんのおじさんといえば、神谷の当間林昭さん。現在、ボランティアで福祉施設訪問千回を目指してがんばっています。

福祉施設を訪問

しょうちゃん人形と



当間さんとしょうちゃん



市旗が市長(右)から齊藤部長へ

東京ドーム球場で行われた第五十九回都市対抗野球大会に、富士市代表として大昭和製紙チームが出場しました。大昭和チームは、五十六年に一たん休部したものの六十年に復部し、昨年に続いて二年連続出場を果たしました。七月二十三日、同社野球場で壮行激励会が行われ、渡辺市長から齊藤野球部長に市旗が手渡されました。

都市対抗野球に
大昭和チームが連続出場



ミニ鉄道に夢を乗せて

フジレールクラブの皆さん

「少年時代、電車にあこがれた」という経験は多くの方がお持ちだと思えます。今回は、その淡い思いをずっと温め続け、ミニ鉄道運転という形で実現している、フジレールクラブの皆さんにおじゃましました。

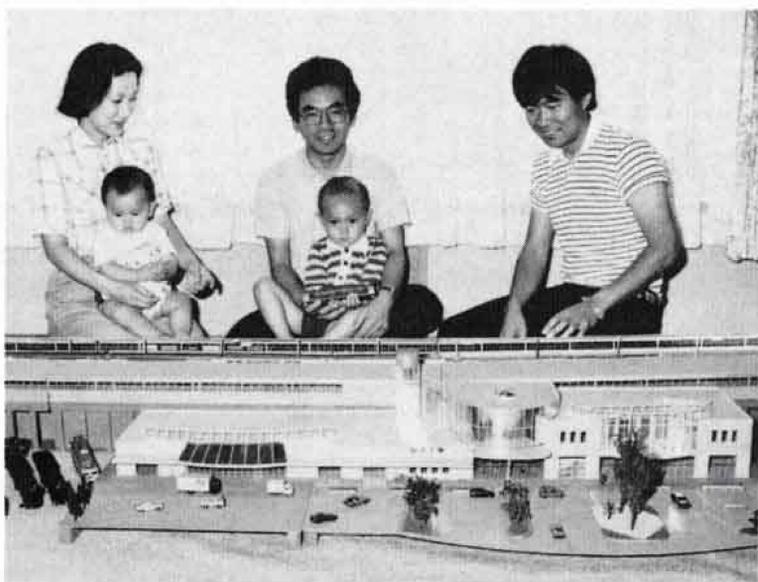
新富士駅の開駅した三月十三日、喜びにわくステーションプラザF UJIの一階で、新幹線や特急列車のミニチュアが運転されたのを覚えていた人も多いかと思います。

この展示・運転をしたのがフジレールクラブの皆さんです。新幹線から新富士駅舎まで、すべて八十分の一の模型をつくるには、計画から五ヵ月かかったといえます。

といっても、クラブができたのはこのとき。各人が趣味としてやっていたのを、新富士駅の開業イベントの決定により結成されました。

メンバーは、富士宮市在住の人も含めて五人。子供のとき列車にあこがれ、模型を買いたくても高価で手に入らなかったというものが、皆さんの共通体験であり、この趣味に入った動機です。

機関車・新幹線・在来線と人によって列車の好みがあり、多い人は一人で二百両も持っている



会長の神田さん(右)とメンバーの大石和彦さん一家

か。また、自分の子供といえども、「これはパパの」と言ってしまうかもしれません。車両は子供のおもちゃじゃないからです。会長の神田隆文さんは「八月二十七・二十八日に鷹岡公民館で展示・運転を行います。ぜひ見に来てください」と。ピーアール。問い合わせは、神田さんへ。☎三四二二六八六